



三重県 玉城町ゼロカーボンシティ宣言

玉城町は、田丸城を中心に古くから交通の要衝として栄えたまちであり、現在では 1500ha の優良農地を活かした多彩な農畜産業が盛んに営まれ、また、優良企業の立地により、働く場が創出されています。私たちはこうした豊かな自然や歴史文化的資源を活かしながら、ともに暮らしていく持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。

一方で、地球温暖化が要因とみられる異常気象により大規模災害が各地で頻発する中、町内でも 2017 年（平成 29 年）台風第 21 号により過去に例を見ない自然災害を経験し、住民の安心・安全な日常生活が脅かされる経験をしました。

2015 年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を 2℃未満とする」目標が国際的に広く共有され、その実現には 2050 年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされました。

こうした中、日本では 2020 年に「2050 年、温室効果ガス実質ゼロ」が掲げられ、三重県では 2019 年に脱炭素宣言が出されています。

当町はこれまで、公共施設への太陽光発電の設置や家庭用太陽光発電の推進などを通じて地球温暖化対策に取り組んできました。

玉城町は「誰もが安心して、元気に暮らせるまち ふるさと玉城」の実現に向け、これまで以上に町民、事業者、玉城町にかかわるすべてのみなさんと連携・協働し、2050 年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ玉城」を目指しオール玉城で取り組むことを宣言します。

2022 年（令和 4 年）6 月 10 日

三重県度会郡玉城町長

辻村 修一